

多摩のくらし～歳時記

～六月一日衣替え・アユの解禁～

<衣替え>

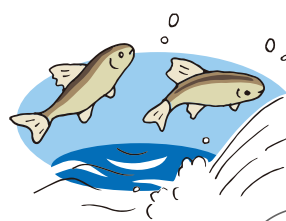
制服着用が義務付けられている学校・職場・自衛隊などでは、決められた日に一斉に冬服から夏服に着替えることが現在でも行われています。多くは6月1日と10月1日に衣替えを実施しています。近年地球温暖化などで、スーパークールビズなどと、その時季も変化



しているようです。古くは平安時代の宮中で、装束と室内調度を陰暦4月1日と10月1日に替えたことが始まりであるようです。当時は下着を調整するだけでしたが、室町時代には衣装そのものを替えるようになり、江戸時代には、この制度は民間にまで引き継がれたといえます。今では各人、自由に衣替えをしていますが、和服着用の儀礼的な場合は、本来の衣替えのしきたりに従うのが常識です。6月1日からは袴(あわせ)から単衣(ひとえ)になりますが、夏越しは絹(ろ)、盛夏には紗(しゃ)など、いずれも長襦袢(ながじゅばん)を着合せます(ゆかたは直接着用)。

<アユの解禁>

6月1日、神奈川県内のアユ釣りが一斉に解禁されます。釣りの愛好家は5月31日までに遊魚券を求め、アユのいそな場所をそれぞれが選び、夜明けを待ちます。1日早朝、花火の合図で解禁を告げます。神奈川県内の相模川、中津川、愛川、中川など一斉に、川に釣り糸が垂れます。多摩川も以前は釣り人や舟遊びを好む人で、屋形舟が出たり、釣舟が出たりととてもにぎわったそうです。時代とともに川遊びでにぎわった旅館も少なくなり淋しくなりました。多摩川でも以前、俳優の石原裕次郎さんが、病気軽快の折、多くのファンに応え、当時の200万円分のアユの幼魚を放流したり、川遊びに力を入れた時代があったようです。最近、多摩川の水もきれいになりアユが遡上しているなどの情報があるようです。アユは川の中流に産卵し、稚魚は海に下って越冬し、春には川をさかのぼり、秋に成魚となります。香りがよく、おいしい川魚の王者で、塩焼、天ぷら、おさしみ、酢味噌、など日本料理には欠かせない食材です。



(川口キン)

たま今昔

区制が敷かれてから40年以上を経た多摩区の昔の姿を探ります

その5 生田緑地の噴水広場



昔 平成21年6月ごろ 噴水がなくなり青々とした芝生広場に

生田緑地の噴水広場は、東口から入り、日本民家園の手前を進むとあります。ここにはかつて直径20mほどの噴水池があり、間欠的に高さ10mほどの噴水が出る、広場に遊びに来た子どもたちの憩いの場でした。2011年に一面芝生の広場になりました。今でも休みになると広場で遊ぶ子どもたちの笑い声がこだまします。

「たま今昔」に掲載する昔の写真募集中!

ご自宅に眠っている、多摩区の昔の姿を捉えた写真を広報誌に掲載しませんか?
ご提供いただける方は、事務局までご連絡ください!

たまの顔 「生水」を探せ!

「生水梨」栽培農家さま、ぜひご連絡を...

生田の名前を冠した、「生水」という梨をご存知ですか? 地元梨農家の太田氏が、平成元年に「豊水(赤梨:母)」に「二十世紀(青梨:父)」を交配し育成、平成9年に申請、平成13年に品種登録されたものです。味は「二十世紀」に近く、豊水に比べ大玉かつ形が良いのが特長。ただし近年は、他の梨の人気に押され、栽培する農家を見つけるのが難しい状況ですが、幸い、原木を含めた3本が「農業技術支援センター」で育成中です。

(取材協力/写真提供: 川崎市農業技術支援センター)



まるまる大玉の生水

多摩区まちづくり協議会へのご意見、ご質問、プロジェクトへの参加申し込みはこちらへお願いします。

【事務局】〒214-8570
多摩区役所地域振興課まちづくり推進係
電話 935-3148 FAX 935-3391
メール 71tisin@city.kawasaki.jp



多摩区まちづくり協議会は、区民の自主的なまちづくり活動組織です。区民が取り組む地域活動を、年4回発行でお知らせしています。

私たちのまちづくり

多摩区まちづくり協議会 NEWS 2013年 (平成25年) 8月

40号



多摩の風景

第15回 民家園通り商店会 夏まつり

商店街の隅々に老若男女が溢れだす

今年で15回目を迎えた「民家園通り商店会夏まつり」は、毎年3～4万もの人で通りが埋め尽くされます。今年は夏の夜にしては涼しい絶好の気候になり、夏まつり会場の中心である商店街は、肩と肩が触れ合うほどの人で溢れていました。道の両側に金魚すくいなど数十の出店が並び、焼きそばやキャンディなどをほお張りながら歩く子どもたちの姿は、いつの時代も同じ風景です。一時期見かけなくなっていた浴衣姿も、少しおしゃれなデザインになり復活してきました。

この夏まつりは、まちと商店街の活性化や経済効果を考え、「商店街がお祭り広場」をテーマに始まりました。国の地域商店街活性化支援事業の助成金を得たイベントで、現在は「夏まつり実行委員会」が企画・運営しています。商店会は多くの個人や団体の後援・協力で実施されており、無事の成功につなげるため、出店を商店会会員に限り、食物アレルギーに配慮して日常営業している店舗だけにするなど、トラブルを未然に防ぐ工夫もされています。

夏の一夜の、しかも4時間半という限られた時間に行われる多種多様なイベントやアトラクションも、多くのアルバイトやボランティアの人たちに支えられることで、大きな盛り上がりにつながっているようです。



+ 活動 夏まつり実行委員会



1999年に2～3店舗でスタートした、この夏まつりを支えてきた民家園通り商店会会員も、今では64店舗に

なりました。毎年5月には夏まつり実行委員会を立ち上げ、企画、運営を行っています。また東日本大震災の復興支援やリユース食器の活用などエコ活動も行っています。

編集後記

今号から編集に参加させていただくことになりました。多摩区へ来て約3年ですが、その景観と自然(とくに水、木々、農作物)のすばらしさに感動しました。この宝を皆さまとぜひ再発見すると同時に、大切にしていきたいと思っています。(高瀬)

■まち協のホームページ <http://tamaku-machikyoo.com/>

多摩区まちづくり協議会 まちづくり TOPICS

多摩区まちづくり協議会が内外で行っている
さまざまな活動の紹介や、身近なまちの情報
などを、トピックス仕立てでお届けします！

【まち協ホームページ】
<http://tamaku-machikyo.com/>



「多摩区ではじめる エコライフ展」

記事 石郷岡

6月は環境月間。その一環として6月12日(水)に多摩区役所1階アトリウムで展示会を行いました。1日1エコ運動、節電、自然エネルギー、ごみ分別などのエコに関するパネルを展示し、パネルに見入る多くの区民の皆さまとの会話を通じ、環境に関する普及啓蒙活動を行いました。関心を持っている方が多いことに勇気づけられました。区役所で環境を考える



サッカーボランティア による地域参加

記事 渡部
(たまプレ)

生田・三田地区に住む子どもたちの、サッカーチームの代表として学生時代から約20年間活動しています。初めは、子どもが広い視野を身につけて成長してくれればと考えていましたが、時代の変化や大震災を経験したことを契機に、サッカーをコミュニケーションツールの一つとして捉えるようになりました。地域のまちづくりのためには、まずは身近なコミュニティに足を運ぶことが第一歩です。みんなで安心安全に過ごせる明るいまちを築いていきましょう。



「みた・まちもりカフェ」

取材 高瀬

5月に新たな交流の場としてオープンし、高齢者の生活や住み替え支援に取り組んでいる当カフェが、明治大学まちづくり研究所による季節ごとの「着せ替えカフェ」コ夏は海岸の雰囲気です。コンセプトに基づき、7月に夏仕様に衣替え。今なら青と白を基調とした新たな空間を楽しめます。



住所：三田1丁目12-1 ネオグリーンヒルズ1階
電話：080-8492-3676
営業時間：月曜 - 金曜 12:00 ~ 16:00



「季節の花めぐり Part V」

記事 古川

5月18日(土)の「季節の花めぐり」は、25人が参加しました。「登戸研究所保存の会」の森田忠正氏の丁寧な説明には、一様に「個人で訪れても通り過ぎるだけなので、参加して説明が聞いて良かった」と喜ばれました。森林インストラクターの近田昭泰氏による生田緑地の植物観察は、目で見て、匂いを嗅いで、葉っぱに触ってよく似た種の違いを学ぶ、まさに五感で感じる身近な植物観察でした。



近田先生の話に耳を傾ける

「市民活動のための 人材力アップセミナー」

記事 高瀬

6月24日(月)に表題のセミナーが行われました。講師は「コーチング」の専門家、土屋廣美先生。活動を元気にする方法について、講義とグループワークを通して学びました。私自身、グループワークにおいて、特に「傾聴」の大切さを再認識することができたことが、大きな収穫でした。



講師の
土屋廣美先生



少人数でグループワーク

多摩川にコアジサシ

記事 河崎

宿河原堰のすぐ下流の中州で、絶滅危惧種に指定されているコアジサシが観察できます。体長は28センチ位で、白い体に黒い頭、黄色のくちばしが特徴です。その数100羽以上。狙う獲物は遡上してきたアユです。4月ごろに日本に渡ってきて、卵を産み雛を育て、9月ごろに飛び立ちます。繁殖する場所はコロニーと呼ばれ、天敵のオオタカやカラスが来ると、集団で追い払います。県内では他に、相模川でも見ることができます。(写真提供：真田 強 氏)



アユを捕まえたコアジサシ

観光 PR ポスター展

情報

10月15日(火)～24日(木)の間、多摩区役所1階アトリウムにおいて、観光PRポスター展を開催します。「来て見て実感!! 多摩区魅力アップ・アイデアコンテスト」の一部門、高校生ポスター部門に出展された作品の展示で、多摩区内に通う高校生が、多摩区の観光をテーマに描いたものです。見ていただいた皆さんに投票してもらい、その結果を参考に優秀な作品を選び、11月30日(土)に行われる「(仮称)たま観光大交流会」で表彰します。高校生による力作をぜひご覧ください。



目指せ岡本太郎!

平成25年度総会 & たまサロン

記事 本多

5月23日(木)18時から、平成25年度多摩区まちづくり協議会の総会を、多摩区総合庁舎で開きました。来賓の池田区長のあいさつの後、平成24年度の事業と会計報告、平成25年度の予算計画と事業計画を報告いたしました。総会后19時から、2年ぶりとなる、みんなで集まって多摩区の課題について語り合う場「たまサロン」を開きました。36人の参加があり、「多摩区をどんなまちにしたいですか」というお題のもと、[①多世代がつながるまちに ②地域でできるエコを考えよう ③学びの場を広げよう ④活動しやすいまちってなんだろう]という4テーマのグループに分かれて熱心に議論しました。ここで挙げられ、会全体で共有された課題や提案について、まち協ではその解決に向けて区民や活動団体の皆さまにご協力を呼び掛け、積極的に取り組んでまいります。



前半は「総会」を開催



後半は「たまサロン」



協議会メンバーが進行役となり各グループで議論



テーマごとの議論を発表

たま区発!

「生田緑地★星空コンサート」

情報

～豊かな緑と煌く星たちに包まれて～

「生田緑地」の豊かな自然と「かわさき宙と緑の科学館」のプラネタリウムが舞台のコンサートが9月23日(月・祝)に開催されます。

①アウトドアステージ 15時半～17時半
【出演】井上 侑、sources (ソウズ)、専修大学 MJA ブルーコーラル
【申込】不要、無料

②プラネタリウムステージ 18時半～19時40分
【出演】東京交響楽団メンバーによる二重奏(チェロ・ピアノ)
【申込】抽選(180人)、小学生以上500円(未就学児不可)、8月28日(水)までに往復はがきで。詳細は、8月1日号市政だより(多摩区版)、多摩区HPをご覧ください。



まち協のイベント情報(8月下旬～10月)

8/21 (水)	真夏のゴーヤを食べよう! エコショッピング・クッキング	
8/25 (日)	ふらっと(菅いこの家)	
9/4 (水)	乳幼児親子クッキング(すかいきつず)	
9/7 (土)	多摩★まち大学連続講座(第3回)	
9/11 (水)	多摩農マップを歩こう会	
9/15 (日)	たまたま子育てまつり参加	
9/22 (日)	ふらっと(長尾いこの家)	
9/25 (水)	多摩★まちCafe「テーマ:安心して子育てできるまち・多摩」	
9/28 (土)	自然観察会	
10/19 (土)	多摩区民祭参加	
10月末～ 11月初旬	多摩★まち大学「他都市視察研修会」	

※ 上記以外にも今後の企画により追加になる場合があります。